



ありのままがいい。
旅も、人も。

ひろがれ！
みらいの
農ホホ水

認定NPO法人
遠野山・里・暮らし
ネットワーク
(岩手県 遠野市)

「この土地に息づく人々の暮らしが資源なんです」
遠野山・里・暮らしネットワーク会長の菊池新一さんは語る。
彼らが挑戦するのは、農業体験や農家民宿にとどまらず、まちのふだんの暮らしに絡めてもらう日本のグリーン・ツーリズムの新しいモデルづくりだ。
その目玉が、「立ち寄り農家」。農家ごとのいろんな暮らしぶりや、旅行者が体験しながら周遊できる仕組みだ。また、増えている外国人観光客への対応を進めるほか、積極的にやっていくという。
「何より大切にしているのは、旅行者との交流を通じて、ここで暮らす人たちが遠野に誇りを感じてもらいたいこと」そう語るのは、コーディネーターの田村隆雅さん。
その地域で暮らす人が、地元の素晴らしさに気づくこと。それがその地域のファンを広げ、みらいを育てるいちばんのチカラになっていく。
農林水産業みらい基金は、助成金を通じて、遠野市や周辺地域・被災地まで含めた新しいグリーン・ツーリズムへの挑戦をサポートしている。



一般社団法人
農林水産業みらい基金

未来は、いつだって、現場から生まれる。私たち農林水産業みらい基金は、JA(農業協同組合)・JF(漁業協同組合)・JForest(森林組合)グループの一員である農林中央金庫によって設立されました。

詳しくは [農林水産業みらい基金](http://www.miraikikin.org/) 検索
<http://www.miraikikin.org/>

